

一人一人の思いで創造するこれからの世界

喜田圭一郎

皆様お元気でお過ごしでしょうか。

皆様とご家族、ご親戚やご友人の方々が健やかであられることをお祈り致します。

新型コロナウイルスは世界中を大きく変える状況をつくったように思います。この季刊誌が発刊される頃までには早く事態が終息していることを願っています（4月27日現在）。

しかしすべての国に与えられたこの共通の困難の背後にある大切な意味を直視せず、今私たち人間が生き方や価値観を変えずに、表れた問題の責任を WHO や各国政府に押し付けたまま、元通りに戻ったのでは、この困難の意味がないどころか、未来に更に大きなパンデミック的な災難を起こすことになるかも知れないと私は思います。

今回の季刊誌のテーマ「思いは必ず実現する」の言葉の重みが伝える通り、今回の COVI-19（新型コロナウイルス）は、我々人間一人一人の不安、心配、恐れ「思いが創造した現実」と考える必要もあると私は思います。

今こそ私たちは何をすべきなのでしょう？もう元のように戻れないとも言われていますが、この感染症が終息した後の世界をよくする為に今、私たちに取り組むべき事があると私は思います。すでに皆様も実行されている事だとは思いますが、あえて私自身の心を整理する意味で以下にまとめてみたいと思います。

① 自分の心を静かに観察する。

自分の心を毎日、毎瞬、丁寧に観察して、表れてくる感情を手放す最高のチャンスと考えています。どんな不快な感情でも本来の自分のものではなく、隠れていた記憶が外からの情報などの影響で、今表れ出たと考え、その感情と決別する為に感謝の言葉や人を思う祈りを心に響かせる。

② 思いやりを行動に表す。

優しい心を発揮し、愛と感謝を基にした行動をするとき。家族に、知人に、出会った人に、思いやりの言葉と行動を意識的に行う。そのエネルギーは全て自分に還ってくる。

③ 人とつながる。

人が心を閉ざし分裂しようとしている今こそ、縁ある人と心でつながり、助け合うとき。直接会えなくても、メールや電話で、思いやりと感謝の心を伝えることはできる。

恐れや不安の感情がウイルスよりも早いスピードで世界中に伝染している今、この3つを瞬々意識して続けることで恐れや不安の伝染力をゆるめ、結果的に私自身の精神性を高め、愛の力を高め、自分を信じて生きる「大きな心」の人になると考えています。

フランスの経済学者であり思想家のジャック・アタリ氏は「パンデミックと言う深刻な危機に直面した今こそ「他者のために生きる」という人間の本質に立ち返らねばならない。協力は競争よりも価値があり、人類は一つであることを理解すべきだ。利他主義という理想への転換こそが人類サバイバルのカギである。」と述べています。

新しい時代の考え方

NASA の宇宙飛行士エドガー・ミッチェルは月への着陸に成功した後アポロ 14 号で地球に帰還する途中、不思議な体験をしました。それは人やモノは別々の存在ではなく“すべてを結びつけている巨大な力（フィールド）”が「今、ここ」に存在していると感じたのです。自分が思い、行動したすべての事が世界に影響を与え、一方世界で起きたすべてが自分に影響を与えていると気付いたのです。

エドガー・ミッチェルはその後、多くの心ある科学者と共に Noetic Science 研究所を設立し、未来の人類の為にこの“フィールド”をもとに新しい科学の研究を始めました。

しかしこの新しい科学の視点はまだ現代の医療や生物学には活かされていません。ウイルスも新しい科学の視点で観察すると全く別のことが見えてくる可能性もあると思います。そして「心の病」が増えている今、新しい科学を取り入れた健康法の開発は急がれていると思います。

中村先生が会長を務めるサウンドヒーリング協会が基本とする「音の考察」は、この新しい科学の視点に立っています。そして古代から続く本来の音の役割は「人間と宇宙に満ちる神秘なる力」とを結ぶ「架け橋」だと言われており、この新しい科学の視点により「本来の音の役割」が現代に復帰できると考えています。

体に入っている自分だけが自分ではなく、物理的な体を超え、人はもっと大きな力とつながっているのです。現代の科学はニュートンやデカルト依頼「人と人、モノとモノを分ける」ことにより発展してきましたが、これからは「人はもっと大きな力、神秘なる全てとつながっている」ことが前提とした時代になってくるのではないのでしょうか。

困難と見える時代だからこそ、「思いは必ず実現する」をつかみ自分の「思いクセ」を消し去り、精神を進化させるチャンスだと思います。不安や心配な思いを無意識に発している人が世界に沢山いる中、積極的に明るい思いを発していくときです。

世界を、私たち一人一人が発する愛の心で包めば、それは寄せては返す波のように、そのまま私たちの下に還ってくるでしょう。この経験を重ねることで、人類は一つであることを思い出し、他者のために生きる喜びを体験できるのではないのでしょうか。

皆さまと力を合わせ、暗く見える世界の光になりたいと思います。